

普及情報

【件名】

さくら小学校で森林体験学習を実施しました

【内容】

阿東林業振興会では森林の大切さやそれを支える林業の必要性を知ってもらうことを目的に、山口市立さくら小学校の3年生児童7名・4年生児童7名を対象にした森林体験学習を令和4年10月12日（水）に実施しました。

午前中は、実際に山林に入っただけの間伐体験です。はじめに、振興会員によるチェーンソーを使った伐採を見学しました。その後、伐った木の長さを測り、全員で切り株の年輪を数えたり、手で触ってみたりと熱心に観察しました。

次は、児童自らがノコギリを使って木を伐りました。児童には大変な作業でしたが、振興会員の指導を受け、交代しながらやっと切り倒すことができた時には大歓声が上がりました。

また、山口北部木材センターの見学を行い、大型チップパーでチップを作る様子を見学し、児童たちは大きな丸太がチップになっていく速さに驚いていました。

午後からは、まず、実のなる樹木の名前について、事務所の職員が実物と写真を使って説明を行い、匂いや手触りを確認するなど、真剣に観察しました。

次に、阿東地域の木材を使った本立ての作成です。中板や棚を釘で固定するのに少し苦労しましたが、全員が時間内に組み立てることができました。

学校の周りや家の近くにある森林の大切さや木で遊ぶ楽しさをあらためて感じてくれたことと思います。



間伐体験



本棚 完成！